知ってください、長岡のよさ

3月1日　長岡南小児童が長岡PRポスターを掲示

長岡南小の３年生が、総合的学習「長岡PR大作戦」の一環でPRポスターを一人ひとり作成し、市内24カ所の観光施設や公共施設にそれらのポスターを掲示しました。

アクシスかつらぎの姫のあし湯では６人の児童が、イチゴや温泉など自分の思う「長岡のよさ」をPRするポスターを掲示しました。

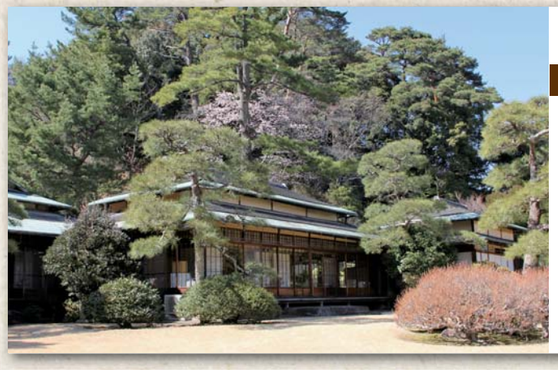
ポスターを掲示する児童たち▶

庭と建物の調和が「造形の規範」

3月10日　三養荘本館が登録有形文化財へ

文化庁文化審議会が、三養荘（墹之上）の本館を含む全国の226件を、国の登録有形文化財（建造物）として登録するよう答申を行いました。

この制度は実際に活用されている建造物を保護するためのものです。三養荘本館は、市内で中川家住宅（奈古谷）、旧菅沼家住宅（知半庵）（吉田）に続く３例目となります。



◀三養荘本館の居間・書斎棟

色とりどりの花がまちを彩る

3月10～12日　花咲く伊豆の国フェア2017を開催

花いっぱいのまちづくりを推進する当市では「花咲く伊豆の国フェア2017」を韮山反射炉芝生広場で開催しました。

会場では、ミニガーデン、ハンギングバスケット、寄せ植えコンテナのコンテスト表彰式が行われました。出品された約160点の素晴らしい作品が会場に並び、来場者を楽しませました。

会場に並んだ華やかな作品を眺める来場者▶

生涯にわたり学び続ける大切さ

3月12日　きっかけ作り塾発表会・閉講式を開催

工作やダンスなど、さまざまな講座を１年間通して学ぶ「きっかけ作り塾」の合同発表会と閉講式を韮山時代劇場で開催しました。展示の部に20講座、発表の部に19講座が参加し、初心者からスタートした学びの成果を発揮しました。

閉講式では、受講者から講師へ花束を贈呈、１年間の感謝を伝えました。

◀健康増進を目指した社交ダンス講座の発表

人権を考えるきっかけに

2月15日　大仁中生徒に人権作文優秀賞が伝達

全国人権作文コンテスト県大会で大仁中の鈴木淳一郎君（３年）、萩原さらさん（２年）が優秀賞に選ばれ、市人権擁護委員から表彰状を伝達されました。

鈴木君は「障がいのある人も生きているということを知ってもらえるとうれしい」、萩原さんは「読んだ人が人権について、まず考えることから初めてくれるとうれしい」と、感想を話しました。

表彰状を手にする鈴木君と萩原さん▶

春の訪れを告げる満開の梅林

2月19日　おおひと梅まつりが開催

梅の花が見頃を迎えた大仁梅林と大仁神社境内でおおひと梅まつりが開催されました。林道には大仁中学校の美術部有志生徒が作成した案内板を置き、順路を分かりやすく示しています。

当日は、雅楽や子ども創作能などのステージ発表が行われたほか、梅林内で写生を行う子どもや、満開の梅の花を楽しむ来場者でにぎわいました。

◀紅白に色づく梅の花を写生する子どもたち

災害時にはポストを見て！

2月23日　避難所ステッカー貼付の協定を締結

市と日本郵便株式会社三島郵便局は、「郵便差出箱への避難所名表示ステッカーの貼付に関する協定」を締結しました。

この協定は、災害時にすべての人を安全に避難させることが目的です。近隣の避難所名やその避難所が対応する災害を表示したステッカーを、市内約70カ所の郵便差出箱（郵便ポスト）に貼付します。

東海郵政退職者共助会のボランティアによるステッカー貼付▶

間近で見る工事現場と大型機械

2月28日　長岡北小児童が工事現場を見学

県と県道路公社が進める江間地区の地盤改良工事現場で体験型見学会が実施され、長岡北小３年生の児童33人が参加しました。

現場には高さ40m以上の大型機械などがあり、迫力ある周囲の雰囲気に児童らは緊張した様子でした。見学を終えた児童は「近くで工事を見て、どんなことをしているのかよく分かった」と話しました。

◀工事現場で使用されている大型機械の前で記念撮影